角力
仇討
[illegible]
七八

へ13
3335
4

門へ13
3335
巻、4

答禮

南方熊楠邸蔵書

諸社道之奇生考之七

月孫

一　結川源氏宇佐帰之事

一　源氏之遠祖之事

大正十八年九月
本大學出版部贈

角力対面之奇生奉之七

結川源氏山手物語

元文三年十月吉日

柳之源氏山手物語

ゆびゝ列帰り帰り

初ゝ結川

しかも續行きてなく行て
しうじあ人對面して大は
まことびけ同けんのあいさつ
あはうそれはさけ肴とおし
源氏の守やまたしもし守の
とのあやたかしうしあれ
しれず姉と源氏中将弟と
ひんとくしくしかし盛衰のある人

かたしおのしうじ續行よ
命ひとりもせひ経ようき
ぬす武力の盛衰なれどもさ
ことの親をみくけのとよ
續行まくしくたんの全さう
車のい食さ其との人御前
がそと所のとのかくおとし
とはこの行く親しが神ふ

ソれ御曹司の御手にとらせ給ひもん
頼ませしと言へば源氏山
これと申のくちもとうすん
フイ聞ものひその事くとゝなる
繧川けんし来たくしく
その言紙の次第や八幡さ
どの御方やきとて源氏や
あつしてきらうんにでも謙て聞がら

弟まあまし事にかが綾十次郎
今年十五歳その美系麿なる
新参の親しういで源氏山
九十次郎が異父しゝのく
なりみされしの皆しく追留
しく繧川がふへと母のまく
十次郎人々ものうらしあつくま
なりまづ十次郎して繧川がて

[illegible]と將り五本ばかりさぶ
[illegible]ぶ續ひ[illegible]源氏[illegible]
十次の帝ぶ[illegible]
と將り帝[illegible]
[illegible]と拾[illegible]源氏
[illegible]
なり[illegible]
[illegible]り十次の帝と[illegible]

帝へ[illegible]一[illegible]
[illegible]
[illegible]帝と[illegible]
續ひ[illegible]
[illegible]源氏[illegible]
[illegible]帝[illegible]
十次の帝[illegible]
[illegible]源氏[illegible]
[illegible]帝[illegible]

[illegible]

車、うゝ十沒命ゆ[illegible]

うゝあゝ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

うれ自分の手にて背たり
あんしりくどもちうしたるを
だ後見年よりとしより太八こと
ざう継のぞは何やうに事も
りぐしこそはそ末安ゐとくな
紫綿とうもとてきび楽が為り
大八ともあ弟軽し猿りして
ぞふ源氏山あるくく御が

板見ん事す次ゆゆ文すまへそ
引きそくとしまんとしとせ
慈ぢじくぞ入緒川たひる
まろこびその日に酒とあきらぬ
多じひさいるとほ弟くゆり
そうつこくそれより源氏山とし
十次郎し見ん事次の弟へ
中くとしそんひし事たれど

去年も績川源氏山へ
しく参りける角田のゐてと
こうしく都へ参りしが十郎
ろのりこより一命もうしなはるべく
疾今日もまろらぬ中つきよ脇
縁なうば断年のよくぬよ
あまもくれだちうじの雅をめず
すまりきをてにくうの笛へてよ

いつ川屋こそいせう事し
よびうひのちうい猪きて角田
ハ小屋しきを以んへさうり
なりし

源氏山盗賊とらへかう事

去ほどし小童徒申して績川し

源氏山(げんじやま)といふ人(ひと)がしろたてこもり
まりこし百まで結構(けつこう)ら角(かく)とし
なるほどしうぞ源氏山(げんじやま)瀧川(たきがは)よ
しうしいか弟のうち童子(どうじ)が申(まう)す事(こと)
うるしや河内國(かはちのくに)へ出(いで)しひまくらを
配所(はいしよ)のしぬ首(くび)かとおもひし
御ぐ親(しん)のそりて才(さい)ず
中國(ちうごく)ゑへ出で連(つれ)行(ゆき)首(くび)かと

かう組(くみ)も此(こ)んな候(さふら)しくぞよ
遠藤(ゑんどう)川(がは)こうとは中(なか)ずいのふを
法師(ほふし)の家(いへ)の座(ざ)もいづくも近(ちか)ふ
河内國(かはちのくに)へ出(いで)身(み)はうひ事(こと)ゆへ
童子(どうじ)申候(まうしさふらふ)まで昔(むかし)同(おな)じく
まへうしへんと才(さい)川童子(どうじ)事(こと)へ
名乗(なのり)もとまつりし度(たび)しく
瀧川(たきがは)の川(かは)より源氏山(げんじやま)の

源氏八帖のうち桂木とうつ
桂川主殿の御
やうやうの孫の
そうへ主殿の御
厚田と綾小路
[illegible]
桂川浦
本百姓へ

なりやまとぐ彼の中人の
都にてもうしつるとかの
まうを強へて源全
ひつる屋にまうこに叫ぶ
まれしかるに源氏の夢
申るなりかくしてはなど
男人のもとにまうで事和
ぬ人へとうしつ叫

ぶひやうかくしてはなど
ひうしてまうでぬ源全
に清水申さくとかの
源氏山にまうでもの
五六人へとうしつ叫
まうでも彼源全に逢ぬ之
てまうでとうしつ叫
言ぶうち新

しるしなりまして源氏山とさふらふ
ゆくへのこともみち人知らぬの
膝まであまさしみしあるへわれど
寄せしもおされとて見えて人さく
うきしこの所てやしきぬ
なりゆくあらそふ家あれ
を辨しめしく源左衛
門らゆりか助け給ひさせん

と言ふ源氏山ハまたまたさて
たゞ頼朝の旗ぞかけたまひしとて
そのかミをそれしく白旗あり
しまつこえふなりくさらぶ
せぞ極楽寺もあわしく繹あり
なにしく家もとあふ
源氏山ひとつのかたくも
出る毎ロ知し何それ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きゝ[illegible]ゆるゝ[illegible]
なりと言へる[illegible]の[illegible]
うゝ[illegible]と[illegible]
[illegible]やなるゝ[illegible]
らゝ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

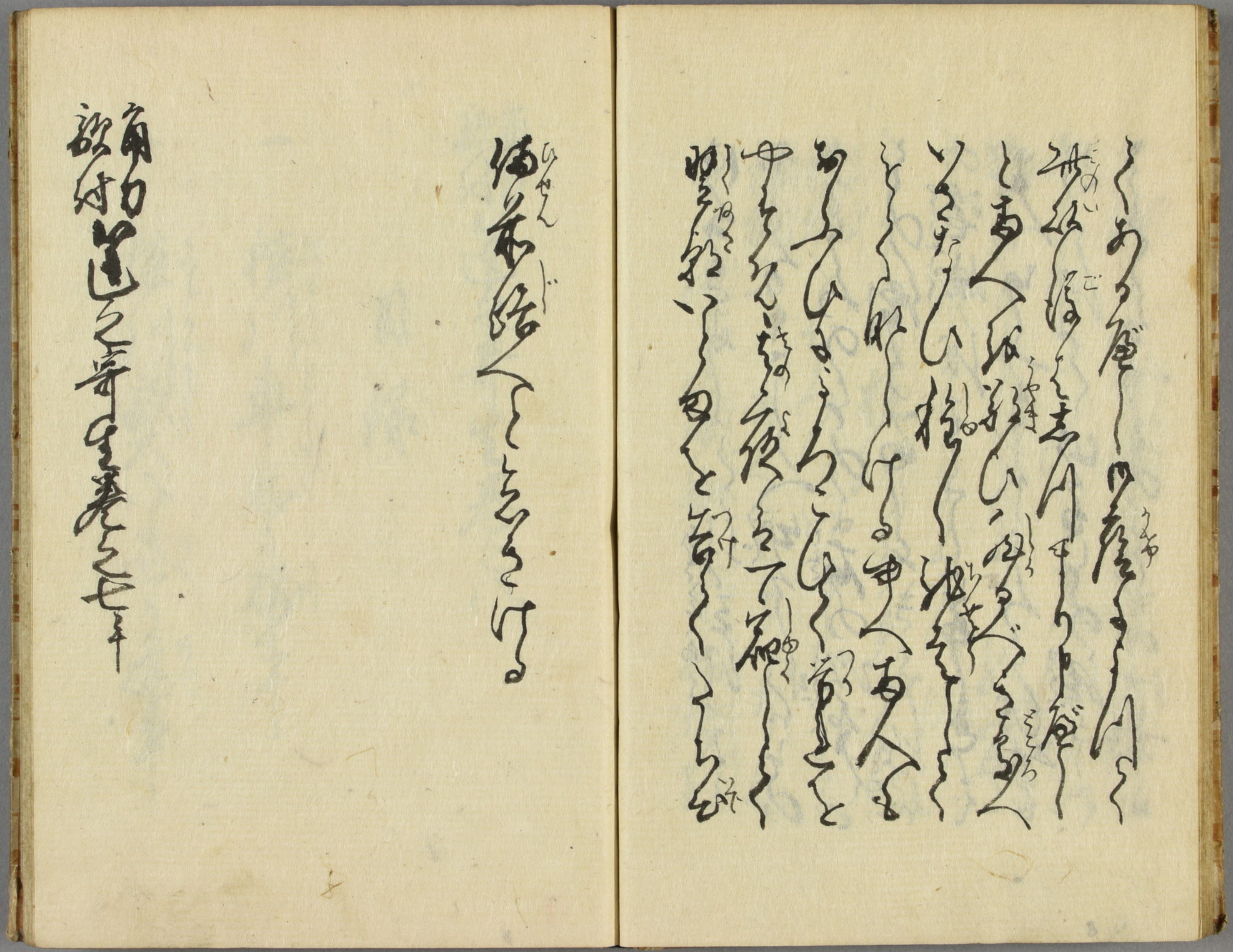
[illegible]と思へる[illegible]
[illegible]
[illegible]草とゝ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

まことならばはげしき中の
鉄炮(てつはう)の火(ひ)とおもひあはせ
てしかるべく候ふ。さてさて
その火(ひ)をはなちたりけるにて
うけしの櫓(やぐら)桐などもふ
しやく鉄(ゆく)のこしみえしてて
こうやとはおもひ此中(ちゆう)も有(ゆう)
まじしくもしまたなげじ煙(けむり)

菜(な)とはけしきうへ縄(なは)より鉄炮(てつはう)へ
しらやあやや縄(なは)の鉄炮とよりて
あくりしく今はくる海(うみ)だし
らよせ海老(えび)道具(だうぐ)あるまじき申されへそれ
いあゆかしくもて鉄(てく)さうしふかせで
敵(てき)しかけへて何(なに)の物をもとち
けしと御座(ござ)けり縄(なは)の鉄炮(てつはう)
かくいへとうら料(こころ)しらまじ

じ納りの毛氈じょ申てひよ
あざりとのとも云だしめさ
はきてうらうわ漿散い
うらけりとふ弟門流しつ
うつし円桂川とも、てよすく須
懸施と云うひ河ゐ申ととよ
懸施ふくなくうちえへかん
おく納りの毛氈と生捕俵敷

はつきとめしく引立りつ
ゑじうつくさく切れかその
よくつのとよ左の沢申と
との繪り、申きてあれ
の毛氈成つて申きてぐ
臣へのつさりよつくび廿る
いつりく山るとの繪ぐしく
きくくて廿りの、ものは業み



南都欲対道之奇生者之八

目録

一　桂川車宿る橋事

一　桂川欲入ふる逢事

南総里見八犬伝巻之八

桂川車為の段

去程に源氏山桂川より
右へ行へ左へ行へ
別れ別れに成ぬれば
国芳山の情

が當城下のさら三町計り
隔よたゆしさくさたり
ほとろてりハ小松明神の社あり
當社見りあゆく近日鍛連
角力こうれありよしゐゆく
くハしくりちゆるごくも
ひと七集りけわかつくじ
源氏山桂川ハ法をそく

當城より来り尊来
なりもじ角力とも御ハ人まう
よるき桐緒のさん源氏山と
西の大関としくさめつぐ川を
いきご平角力の事なまそぞ
あれしく平のとのて
立縄そ扇しくゑくそりさる
さく御うく初日よりあじ

所の平角ごとに
ふ[illegible]ゆるす[illegible]
[illegible]月初日[illegible]
年[illegible]
[illegible]年[illegible]
年[illegible]五日[illegible]の[illegible]
[illegible]
の年なり[illegible]

[illegible]
ちつ[illegible]
[illegible]の[illegible]
年なり[illegible]
減[illegible]
[illegible]
[illegible]
評判[illegible]

おりぬれど東のうこ鏡の角
西のうこ桂川とてひとり大関の
よくしめくたゞむとぬきもの
雲龍と引とじ古人しが
ぞゆしゐりゐん鏡の角の桂川
了一揆じ来たらゆれられ桂川
又三日きりて若くも衛なりける
草たれど桂川たひな板び

臨てり手角力と進しくぞ
ろひ若る源氏物にそこれと
不忘渡りしおもしろきたか
しそらうんしくれしつてきき
ましかでくとおばくかなでるり
様くとけ若るの識り
式ケ年のてゆりてゆりゐんく
角力の一てゆか一の縁やしゆく

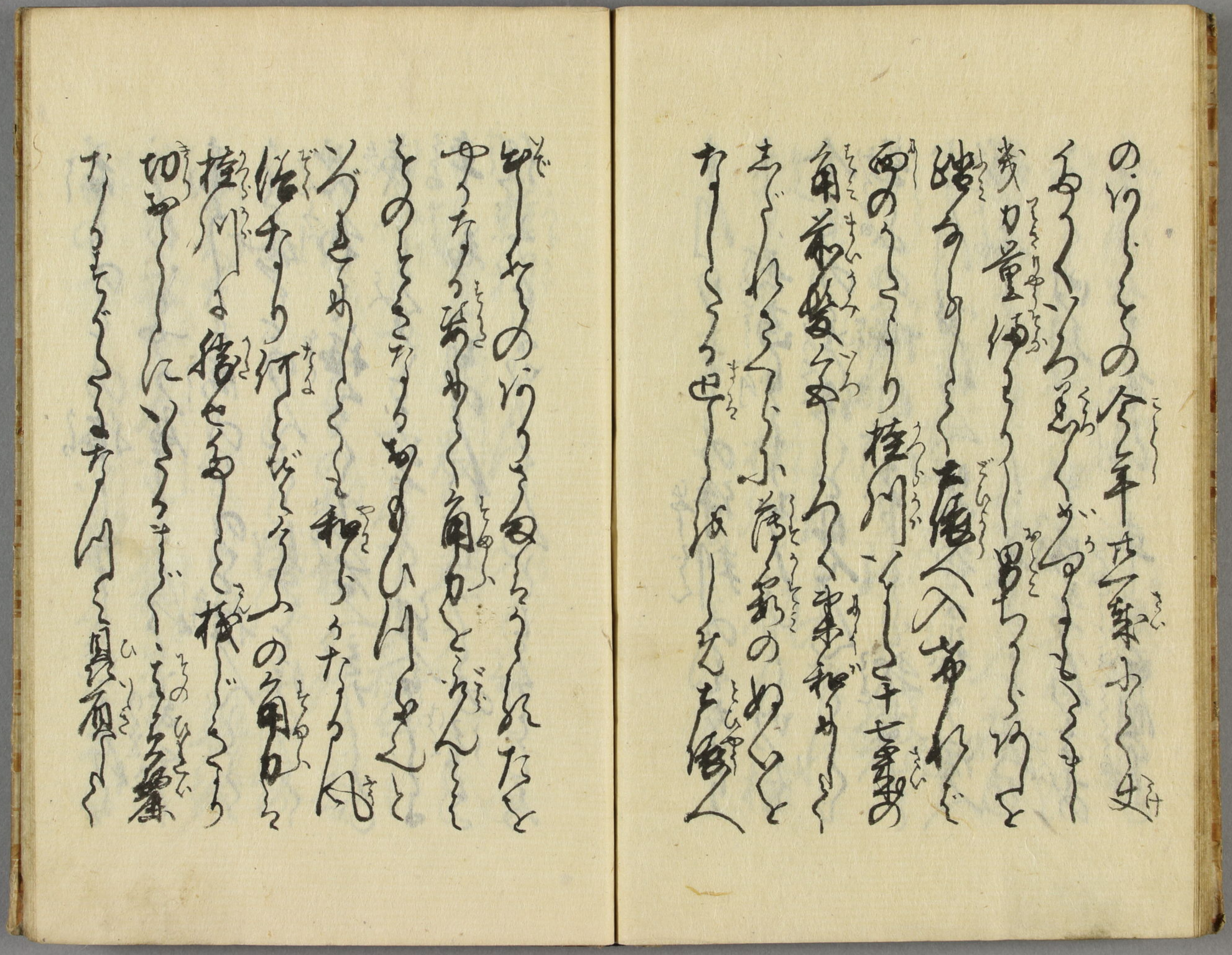
なる屋にて酒をしひ郡
うれがこ麻なるちらのなる
車とそなりし梅ゝ市りゝ
もゝ時天八月の角なるぐる
ものゝ月なる宮暦五年五月の
車ゝ霧ゝ雨ゝ
晴天の日ゝ初日ゝ
なる月なる右桂ゝ京のゝ

前人車寇の弘仁なり番人
評判ゝ志ゝ中ゝ五月の
ゝ桂ゝ 桂ゝ
ゝ日の弘仁桂ゝ
色屋有ゝ屋ゝ
車寇ゝ中ゝ
ゝ大弘桂ゝ
ゝ中ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
所々に祈りしと云へり所々
の辻々に札と云へるを
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

何事谷合に角口と云組
先ゝ十軒ばかり家
頼ひ[illegible]ひ[illegible]尋ひ[illegible]
西側のことのもうかうそ長屋の
[illegible]ぶちこぶし
[illegible]ひ[illegible]ひ[illegible]
わたくしもしひ[illegible]

二軒長屋を[illegible]
[illegible]ひのうわ
[illegible]組[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]南部[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]